

お寺での生活を体験

敬慎院では、宿坊に宿泊して僧侶の生活を体験することができます。料金はホームページに掲載されています。

この宿舎は、僧侶が修行や悟りを目指すために建てられたもので、食事や睡眠、入浴などを楽しむことができます。七面山の自然の中で、昔からのお坊さんのように、食事、睡眠、入浴、勤行をすることで自然を満喫することができます。

浴場

七面山を登った後は、夕食前に入浴します。夕食は 17 時頃になるので、15 時から 16 時の間に到着するようにしましょう。敬慎院では、周辺の環境や野生動物の保護のため、石鹸やシャンプーは禁止されていますが、歯磨き粉は許可されています。浴場には、洗面台、蛇口が 2 つあり、2～4 人がゆったりと浸かることができるお風呂があります。

食事

近くに飲食店や売店、自動販売機などがないため、夕食と朝食が含まれています。敬慎院での一泊体験の醍醐味の 하나가、伝統的な仏教の食事です。鎌倉時代に日本に禅宗が広まったことで人気を博した「精進料理」。肉や魚、動物性の副産物を使わずに調理されています。

敬慎院の食事でも質素な生活を反映していますが、特に七面山を登った後の食事は美味しいです。夕食は午後 5 時頃、朝食は午前 6 時 30 分頃からとなっています。

お部屋

敬慎院には様々なお部屋をご用意しております。グループの人数やお好みに応じて、指定のお部屋をご用意しております。場合によっては相部屋をお願いすることもあります。

部屋は畳を敷き詰め、襖で仕切られた基本的な部屋です。元々は僧侶の宿舎として使われていたため、扉には鍵がなく、お風呂やトイレは共同利用となっています。

一人一枚の布団ではなく、一枚の大きな布団で寝ます。一人一人に枕と布団の上の指定された場所が用意されています。

布団はふかふかですが、厚さは 2～3cm 程度ですのでご注意ください。

朝夕の勤行

夕方の勤行は午後 7 時から始まります。その前の午後 6 時 30 分頃には、敬慎院と小さな仏教遺物の博物館を見学することができます。

朝は、季節によって 4 時または 5 時に、僧侶が大きな太鼓を叩いてお客様をお起こします。朝の礼拝は 4 時 30 分または 5 時 30 分に始まります。礼拝が始まる前に、展望台に出て、遠くに富士山を望む朝日を眺めてみてはいかがでしょうか。